

1999年

- 3月27日** ルイ シュヴァイツァーと塙義一、東京にて提携契約に調印。
- 5月28日** 提携契約に基づくクロージング。ルノーは日産の株式の36.8%、日産ディーゼルの株式の15.2%、および欧州における日産の販売金融子会社5社の株式100%を取得。
- 6月9日** 提携の統括機関であるグローバル・アライアンス・コミティ(GAC)の非公式会議をパリで開催。この後GAC会議は毎月パリと東京にて交互に開催。
- 6月10日** 塙義一、ルノーの取締役就任。
- 6月25日** カルロス ゴーン、パトリック ベラタ、ティエリー ムロンゲが日産の取締役就任。それぞれ、COO、商品戦略および経営企画担当副社長、財務担当常務として着任。
- 7月6日** ルノーと日産、各々の日産ディーゼルに対する出資比率を22.5%に引き上げ。
- 10月18日** カルロス ゴーン、東京で日産リバイバルプラン(NRP)を発表。

2000年

- 1月** 日産の支援により、ルノーメキシコを設立。
- 3月30日** インターナショナル・アドバイザリー・ボード(IAB)の設置を発表。
- 6月20日** カルロス ゴーン、日産の社長兼COOに就任。
- 7月** エルサルバドルとホンジュラスにて、日産の現地販売店がルノー車の取り扱いを開始。
- 10月** 日産、既存のルノー販売網の支援により、ブラジル日産自動車会社を設立。

- 10月30日** ルノーのマロック社、モロッコの日産の販売会社SIABを買収。
- 11月** エクアドルにて、日産の現地販売店がルノー車の取り扱いを開始。
- 12月6日** メキシコの日産クエルナバカ工場にて、ルノー セニックの生産開始。

2001年

- 2月16日** スイスとオランダにて、最初の単一法人(SLE)販売組織を設立。
- 4月2日** 共同購買会社、ルノー・ニッサンパーチェシングオーガニゼーション(RNPO)を設立。
- 5月** 日産、既存のルノー販売網の支援により、コンゴで車両の販売開始。
- 5月2日** オーストラリアにて、日産の協力で初のルノーショールームを開設。
- 6月** 日産、既存のルノー販売網の支援により、マリで車両の販売開始。
- 6月** ルノーアルゼンチンが同国での日産車輸入権を取得。
- 6月21日** カルロス ゴーン、日産の社長兼CEOに就任。
- 7月21日** 台湾にて、日産の現地パートナー裕隆汽車によるルノー車の販売を開始。
- 9月** 日産製4WDディファレンシャルギア搭載のルノー カングー4X4を発売。
- 9月13日** 共通の情報システム組織を設置。
- 11月1日** インドネシアにて、日産の現地パートナーの協力を得て、ルノー車の販売を開始。

- 11月15日** メキシコの日産アグアスカリエンテス工場にて、ルノー クリオの生産開始。
- 12月20日** ルノーと日産はブラジル・クリチバにて小型商用車工場を竣工。同工場における最初のモデル、ルノー マスターバンの生産開始。

2002年

- 2月** ルノーの海外販売会社であるSERAセネガルが同国での日産車輸入権を取得。
- 2月** ポルトガルのルノーカシア工場で日産NDマニュアルトランスミッション生産。
- 3月** 欧州にて、ルノー マスターとのダブルバッジ車、日産 インタースターを発売。
- 3月1日** ルノー、日産に対する出資比率を44.4%に引き上げ。
- 3月4日** メキシコの日産アグアスカリエンテス工場にて、ルノー クリオセダンをベースとした日産 プラティーナの生産開始。
- 3月5日** 日本にて、初の共通プラットフォーム(Bプラットフォーム)採用車、日産 マーチを発売。
- 3月8日** 日産3.5リッターV6ガソリンエンジン搭載のルノー ヴェルサティスを発売。
- 3月28日** 共通戦略運営組織ルノー・日産BVの設立。
- 3月29日** 日産、ルノーの株式の13.5%を取得。
- 4月22日** ブラジル・クリチバの小型商用車工場にて、2番目のモデル、日産 フロントピアピックアップの生産開始。

- 4月26日** カルロス ゴーン、ルノーの取締役役に就任。
- 5月28日** 日産、ルノーに対する出資比率を15%に引き上げ。
- 5月29日** グローバル・アライアンス・コミティ(GAC)に代わるアライアンス・ボードの初会議を開催。
- 6月20日** シェマヤ レヴィー、日産の取締役役に就任。
- 7月1日** ルノー・日産インフォメーションサービス(RNIS)を設立。
- 9月** 欧州にて、初の共通Cプラットフォーム採用車、ルノー メガースを発売。
- 9月16日** ドイツにて、3番目の単一法人(SLE)を設立。
- 10月22日** スペインの日産バルセロナ工場にて、欧州初のクロス生産モデルX83コンパクトバンの生産開始(ルノー トラフィック、日産 プリマスター、オペル ビバロとして販売)。
- 12月** 欧州にて、ルノー1.5リッターディーゼルエンジン搭載の日産 アルメーラを発売。
- 12月15日** パナマにて、日産の現地販売会社であるFASAグループによるルノー車の輸入開始。

2003年

- 1月3日** クウェートにて、日産の現地販売網によるルノー車の販売を開始。
- 1月17日** ルーマニアにて、ルノーが日産車の輸入・配給管理を開始。
- 1月23日** 欧州にて、共通Bプラットフォーム採用車、日産 マイクラ(日本名：マーチ)を発売。

- 2月2日 バーレーンにて、日産の現地販売網によるルノー車の販売を開始。
- 3月 欧州にて、ルノー1.9リッターディーゼルエンジン搭載の日産プリメーラを発売。
- 3月26日 ブラジル・クリチバの小型商用車工場にて、3番目のモデル、日産エクステラの生産開始。
- 4月 欧州にて、ルノー1.5リッターディーゼルエンジン搭載の日産マイクラを発売。欧州市場における共通レール式ディーゼルエンジンの新ラインアップが完成。
- 5月5日 カタールにて、日産の現地販売網によるルノー車の販売を開始。
- 5月16日 チュニジアにて、ルノー車の輸入を行うARTESが日産車の配給を開始。
- 5月28日 オーストリアにて、4番目の単一法人(SLE)を設立。
- 7月24日 小枝至、ルノーの取締役役に就任(橋義一の後任)。
- 8月 グアテマラにて、日産の現地販売店がルノー車の取り扱いを開始。
- 10月 欧州にて、ルノー カングーとのダブルパッジ車、日産 キュピスターを発売。
- 11月27日 ルノー、日産ディーゼルに対する出資比率を22.5%から17.9%に引き下げ、日産は22.5%から23.9%に引き上げ。

2004年

- 1月1日 日産とルノー、欧州の新たな単一法人(SLE)販売組織をスロベニアおよびクロアチアにて設立。

- 1月 共同購買比率や管轄範囲を拡大したRNPOフェーズ3開始。
- 1月 メキシコにて、日産とルノーのディーラーおよび顧客向けの新たな共通金融プログラムのオペレーションを開始。
- 3月29日 提携5周年に際し、「アライアンス・ビジョン - 目指すべき姿」を発表。
- 6月 欧州にて、日産3.0リッターディーゼルエンジン搭載のルノーマスターを発売。
- 9月 欧州にて、ルノー初の共通Bプラットフォーム採用車、ルノー モデュスを発売。
- 9月 ルーマニアにて、共通Bプラットフォーム派生型を採用したロガンを、ルノー・ダチア両ブランドの下で発売。
- 9月30日 日本にて、共通Bプラットフォーム採用、共同開発HR15DE(S2G)エンジンおよびアライアンス初の共同開発ナビゲーション・通信システム搭載の日産 ティーダを発売。
- 11月 ニカラグアにて、日産の現地販売店がルノー車の取り扱いを開始。
- 12月1日 日産の技術支援により、ルノー三星自動車が3番目のモデルとなるSM7を韓国で発売。
- 12月2日 日本にて、共通Cプラットフォーム採用、共同開発MR20DE(M1G)エンジン搭載の日産 ラフェスタを発売。日産として初の共通Cプラットフォーム採用車となる。
- 12月15日 ルノー、マレーシアにて日産の現地パートナーと協力し、カングーCKD組立生産を開始。

2005年

- 1月1日 日産とルノー、7番目の欧州の新たな単一法人(SLE)販売組織をポルトガルにて設立。
- 1月1日 ルノーの役員人事変更により、フランソワ アンフレ、ピエール＝アランドゥスメッドに代わり、パトリック ブラン、ジャン＝ルイ リコーがアライアンス・ボード・メンバーとなる。
- 1月11日 日本にて、日産 ティーダ、ティーダ ラティオに共通エンジンMR18DE(M1G)1.8リッターバージョン追加発売。
- 1月25日 日産の技術支援により、ルノー三星自動車为新SM5を韓国でフルモデルチェンジし発売。
- 2月21日 アライアンス共同開発ナビゲーション・通信システム、欧州にて3月より初搭載を発表(ルノーは新型ラグナ、日産はパスファインダーから)。
- 3月1日 アライアンス初の共同開発6速マニュアルトランスミッションを搭載したルノー モデュス、ジュネーブモーターショーに出展。
- 3月8日 ルノー、保有する日産ディーゼルの株式17.9%を売却。
- 4月1日 日産の役員人事変更により、松村矩雄と大久保宣夫に代わり、志賀俊之と山下光彦がアライアンス・ボード・メンバーとなる。
- 4月4日 共同開発6速マニュアルトランスミッションを初搭載した共通Bプラットフォーム採用車ルノー モデュス発売。
- 4月21日 ルイ シュヴァイツァーが議長を務める最後のアライアンス・ボード開催。
- 4月29日 カルロス ゴーン、ルノーの社長兼CEOに就任。ルイ シュヴァイツァー、ルノーの取締役会会長に就任。
- 4月 コスタリカにて、日産のパナマ現地販売店がルノー車の取り扱いを開始。

- 5月31日 日本にて、共通Cプラットフォーム採用、および共同開発MR20DE(M1G)エンジン搭載の日産 セレナを発売。
- 6月1日 ハンガリーに設立した補修部品の共同物流倉庫の開所式を実施。(設立は2005年4月)
- 6月21日 ルノーに帰任したパトリック ベラタ、日産の非常勤取締役役に再任。
- 7月1日 ルノーの役員人事変更により、ジョルジュ ドゥアンに代わり、パトリック ベラタがアライアンス・ボード・メンバーとなる。
- 9月16日 共通Bプラットフォーム採用、共同開発6速マニュアルトランスミッション搭載のルノー クリオ を発売。
- 11月14日 日本にて共通Bプラットフォーム採用、および共同開発HR15DEとMR18DE(S2GとM1G)エンジンを搭載した日産 ウイングロードを発売。
- 11月15日 ルノー日産ブルガリアの設立を発表。
- 11月24日 日産、ルノー三星自動車製SM3を日産ブランドのモデルとして各国市場で販売することを発表。
- 12月21日 日本にて、共通Bプラットフォーム採用、および共同開発HR15DEとMR20DE(S2GとM1G)エンジンを搭載した日産 ブルーバードシルフィを発売。